

# 西東京の教育

平成17年(2005年)5月25日発行 第18号

発行  
西東京市教育委員会  
〒202-8555  
西東京市中町1-5-1  
電話 代表 64-1311  
編集  
西東京市教育委員会  
学校教育課教育庶務課

鑿刻家並木先生の墓  
—指定文化財第16号—



## 平成17年度読書活動優秀実践校

### 栄小学校「文部科学大臣表彰」を受賞

栄小学校が、平成17年度読書活動優秀実践校として「文部科学大臣表彰」を受賞しました。この受賞は、学校が家庭・地域と連携し、読書活動を継続して組織的に取り組んだ結果が、高く評価されたものです。以下にその取り組みを紹介します。

#### 一 読書活動を推進する具体的な取り組み

- ① 全校朝読書  
火曜日に、児童も担任も10分間の朝読書を行います。担任が読み聞かせをすることもあります。
- ② 図書紹介カード  
友達に紹介したい本の内容や絵をカードに書いて、図書室前の廊下や校内掲示板に展示します。図書委員は本のポスターを描いて図書集いで紹介し、図書室に掲示しています。
- ③ 先生の薦める本  
全教職員によるおすすめリスト「本はともだちブックリスト(低・中・高学年用)」を作成し、配布するとともに、その本を図書室に展示しています。
- ④ 図書ラリィ  
たくさんの絵本や文学全集に接することができるようにラリィ形式をとり、めあてを達成すると図書委員作成のしおりをもらうことができます。
- ⑤ 特集コーナー  
学校行事や調べ学習に見合う「特集コーナー」を設置しています。
- ⑥ 図書委員の読み聞かせ  
休み時間に、図書室に来る子どもたちに読み聞かせを行っています。
- ⑦ 校長の全校図書朝会  
校長と音楽担当教員が、全校朝会でピアノ伴奏とともに、絵本等を読み聞かせています。
- ⑧ 近隣の中学校との連携  
近隣中学校の生徒の来校による子どもたちへの読み聞かせを行っています。
- ⑨ 学校図書館年間指導計画に基づく指導  
年に2回、読書週間を設けて、各活動を行っています。
- ⑩ 活動体制の整備  
主幹、司書教諭、学校図書館専門員、事務主任を中心として「学校図書館プロジェクト」を構成して、教育課程の展開に寄与する学校図書館活動を推進しています。

#### 二 栄小学校の読書活動の概略

新しい図書室づくりに取り組み、読書センターと学習・情報センターの機能を併せもつ図書室づくりを行っています。蔵書のバーコード化を行ったことから、子どもたちが、コンピュータで目的の本を検索することができるようになり、多目的に図書室が活用されるようになり、さらにには校内LANが整



蔵書数10,181冊、面積は普通教室の2.5倍。畳じきの読み聞かせコーナーや、調べ学習コーナーを設置。



#### 三 活動の効果

子どもたちが日頃から図書室によく来室し、読書を楽しんでいます。また、各教科や総合的な学習の時間、調べ学習等の教材として、図書室や公共図書館を有効に活用するようになりま

## 「信頼される教育行政を目指して」

教育委員長 竹尾 格

このたび、西東京市教育委員会の委員長として、3月31日付で、宮崎教育長とともに就任いたしました。委員としては、平成16年3月から西東京市の教育行政に携わっておりますが、その職責の重大さを痛感しております。教育委員会は、学校教育、社会教育、文化・スポーツの振興、文化財保護など、教育行政全般を担当する合議制の執行機関です。従いまして、政治的中立性・安定性・継続性を確保することが求められます。私としては地域の皆さまの様々なご意向をできるだけ反映できるように努めていきたいと思っております。さて、西東京市教育委員会では、昨年、「西東京市教育計画」(教育プラン21)を策定いたしました。この計画は本市の教育行政における最上位計画であり、学校教育の分野と社会教育の分野に分けております。今後はこの計画を実行に移すことにより、開かれた、地域に根ざした教育

を積極的に展開したいと思っております。現在、わが国の教育界は混沌としており、取り組むべき課題が山積しております。日本の子どもたちが、主体的・創造的に生き生きと学べるよう、また、市民一人ひとりが人間性豊かに、より一層成長できるように私達には全力を尽くすことが求められています。私も教育委員会では、地域の皆さまから信頼される教育行政を推進してまいりますので、どうぞ、ご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお申し上げます。

## 「学校、家庭、地域が一体となつて」

教育長 宮崎 美代子

私はこのたび本市の教育長に就任いたしました。責任の重さに身の引き締まる思いです。微力ですが、職務を全うすべく全力を傾注する所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。21世紀に入り教育のうねりは一層高く、子どもたちが活躍する社会は、IT革命・グローバル化・リセッションなど、未踏の厳しい体験が強いられる社会だと受け止めています。ともすると日々発生する新しい変化に翻弄され、流されそうになりがちですが、このような時こそ、義務教育の本来あるべき姿(本質)に迫り、日々の教育活動を大切にしていることが重要であると考えます。また、現代は国を超えて世界の人が助け合い協力し合っており、共によりよく生きていくことが求められています。そこで、昨年11月に教育委員会は「西東京市教育計画」(教育プラン21)を策定し、本市における今後の教育改革の道筋を明らかにしました。その実現に向けて、私は、「参加と協働の学校づくり」「大人と子どもがともに学びあう地域社会づくり」を自指した教育行政をすすめてまいります。多くの方々を力合わせ、活気に満ちた豊かな地

域を築き、自らの夢と希望を持ち、その実現のために努力し、世界の中で信頼される人として、真に生きがいのある人生設計ができる人間を育成することが重要だと考えています。その土台となるのは、何よりも「学力養成と人格形成」だと思います。西東京市の皆さまのご協力を賜りまして、内外ともに開かれた教育委員会として、学校、家庭・地域・関係機関などが一体となり、「教育プラン21」の実現に取り組んでまいります。ご理解ご協力をお願いいたします。

「西東京市教育計画」(教育プラン21)は、両庁舎の情報公開コーナー、市ホームページでご覧になれます。

※「西東京の教育」は、今回から2色刷りにしました。